

盛岡市出資等法人 経営評価シート

(平成24年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡市動物公園公社	所管課	公園みどり課
所在地	〒 020 - 0803 盛岡市新庄字下八木田60番18		
電話番号	(019) 654 - 8266	設立年月日	昭和63年 3月29日
代表者	理事長 谷藤裕明 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB	<input checked="" type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他
設立目的	当法人は、盛岡市動物公園の管理、動植物等に関する調査研究及び知識の普及等を行うことにより、自然に対する認識を深め、情操を育みもって住民の福祉の増進に寄与することを目的とする。		
主要事業	① 盛岡市動物公園の管理運営 ② 動植物等に関する調査研究 ③ 動植物等に関する知識の普及並びに催物等の企画及び実施 ④ 野生生物保全等に関する事業 ⑤ 公益事業の推進に資する為に行なう収益事業		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス http:// moriokazoo.org/)
	<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input checked="" type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法	TV, 情報誌等

3 職員構成及び給与体系

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	理事	1	1		5	6	
	監事				2	2	
	計	1	1	0	7	8	
職員	管理職	正職員	2	1	0	2	
		臨時職員		—	—		
	一般職	正職員	25			0	33
		臨時職員	8	—	—		
	計	正職員	27	0	0	0	35
		臨時職員	8	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 5	減 0	常勤職員の平均年齢	38	歳	
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input type="checkbox"/> その他()					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	30,000 千円	本市出資等額	30,000 千円	本市出資等割合	100.0 %
主な出資等者					/
① 盛岡市			(出資等割合	100 %)	
②			(出資等割合	%)	
③			(出資等割合	%)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成24年度における当 市の財的関与の状況	補助金	5,877 千円	(収入全体の	2.0 %)	
	負担金・交付金	千円	(収入全体の	%)	
	委託料	278 千円	(収入全体の	0.09 %)	
	指定管理料	252,450 千円	(収入全体の	85.1 %)	
	貸付金	千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 公益財団法人盛岡市動物公園公社運営事業補助金	(平成24年度予算額	5,877	千円)		
②	(平成24年度予算額		千円)		
③	(平成24年度予算額		千円)		
負担金・交付金内訳					
①	(平成24年度予算額		千円)		
②	(平成24年度予算額		千円)		
委託料内訳					
① 野生鳥獣保護業務	(平成24年度予算額	278	千円)		
②	(平成24年度予算額		千円)		
指定管理料内訳					
① 平成24年度盛岡市動物公園指定管理料	(平成24年度予算額	252,450	千円)		
②	(平成24年度予算額		千円)		
③	(平成24年度予算額		千円)		
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)	
		利用料金収入(平成24年度予算額		千円	
		法人の収入全体の		%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在, 公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名 称	盛岡市動物公園
--------	---------

6 法人の経営内容の詳細(その1:公益法人用)

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
収支の状況	総収入	301,533	293,133	310,466
	当期収入(A)	297,760	288,235	304,715
	基本財産運用収入	360	360	360
	会費収入(入会金収入を含む)			
	補助金等収入	10,382	4,751	5,859
	うち市からの補助金等(B)	10,382	4,751	5,859
	事業収入(C)	286,975	282,886	298,298
	うち自主事業収入	41,852	33,311	36,973
	うち市からの委託料(D)	1,261	7,997	8,875
	うち市からの指定管理料(E)	243,862	241,578	252,450
	繰入金収入			
	市からの借入金			
	その他の収入	43	238	198
	前期繰越額	3,773	4,898	5,751
	総支出	296,635	287,382	304,330
	当期支出	296,635	287,382	304,330
	人件費	169,373	172,885	185,599
事業費(人件費除く)	29,550	28,537	29,270	
管理費(人件費除く)	74,381	68,689	70,901	
資産取得支出				
繰入金支出				
その他の支出	23,331	17,271	18,560	
当期収支差額	1,125	853	385	
次期繰越収支差額	4,898	5,751	6,136	
財産の状況	資産(F)	70,431	71,232	70,839
	うち固定資産	49,358	49,403	49,592
	うち流動資産(G)	21,073	21,829	21,247
	負債	35,533	35,481	34,703
	うち固定負債	19,358	19,403	19,593
	うち流動負債(H)	16,175	16,078	15,110
正味財産(I)	34,898	35,751	36,136	
うち当期正味財産増減額	1,125	853	385	
財務指標	流動比率(G/H)	130.2	135.7	140.6
	自己資本比率(I/F)	49.5	50.1	51.0
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	3.4	1.6	1.9
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	85.4	88.2	87.6

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
組織の状況	常勤役員数	1	1	1
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数	35	30	35
	うち常勤職員数	26	28	35
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	2	1	1
	うち管理職員数	1	1	2
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	9	9	12.5
	管理職員比率	2.9	3.3	5.7
職員新規採用数	2	3	2	
うち常勤職員数	2	3	2	
事業指標	① 入園者数	180,986	146,496	155,963
	② 動物教室(団体数)	322	300	357
	③ 動物教室(延べ人数)	20,785	17,015	20,581
	④			
本市の財政的関与等の状況	補助金額	10,382	4,751	5,859
	① 公益財団法人盛岡市動物公園公社運営事業補助金	10,382	4,751	5,859
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額	1,261	7,996	8,875
	① 動物引取委託業務	983	126	210
	② 野生生物保全事業	278	278	278
	③ 入園者増加対策事業		7,316	8,387
	④ 岩山南公園園路修繕		276	
	上記のうち再委託額	966	126	210
	上記業務の委託契約方法	随契	随契	随契
	指定管理料	243,862	241,578	252,450
	① 盛岡市動物公園指定管理委託料	243,862	241,578	252,450
	②			
③				
貸付金額	0	0	0	
損失補償額	0	0	0	
債務保証額	0	0	0	
平成23年度決算の概要				
平成23年度の収支状況については、東日本大震災被災者の入園料を免除したこと、各種催し物実施によるリピーター確保などにより、前年度の146,496人を9,467人(6.5%)と上回りました。この結果、自主事業収入(収益事業収入)が上昇しました。支出については、ツシマヤマネコの導入や被災地支援事業、除雪などにかかる費用が増大しました。				

法人の経営内容の詳細(その2)

法人名	公益財団法人盛岡市動物公園公社
所管課	公園みどり課

(1) 目的適合性(公益性)

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 設立目的	1	法人は、設立目的に沿った活動を行っている。	○	
	2	全ての事業内容が、設立目的または趣旨にしたがって展開されている。	○	
	3	現在の社会経済情勢の下でも、法人の設立目的や事業には公益性が認められる。	○	
	4	法人を取り巻く社会経済状況は、設立当初から大きな変化はない。	○	
2 代替性	5	民間等(株式会社の場合、他の事業者等)において、代替が可能な類似の事業が行われていない。	○	
	6	現在の事業量は、最大時の事業量と比べて著しく減少していない。	○	
	7	法人が事業を廃止すると、事業の実施する事業者がまったくなくなり、市民が不利益を被る。	○	
3 市の施策推進における役割	8	法人の活動は、関連する市の政策、施策に結びついている。	○	
	9	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人の役割が規定されている。	○	
	10	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人が実施する事業の施策上の役割、方向が規定されている。	○	
合計			10	0

はいの割合 100 %

・評価コメント

目的適合性(公益性)について総合的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現 状]</p> <p>毎年度事業計画に基づき、当動物公園の特徴を活かし、自然に近い動物の生態が見られるよう留意しながら飼育展示事業を行うほか、各種教育普及事業や研究事業を実施して、入園者や催事参加者数の確保に努めています。また、地域に貢献する施設を目標として「地域社会と自然環境保全」に関わる各種事業に協力するなど、野生生物保全関連事業も行っています。</p> <p>[課 題]</p> <p>開園後24年を経過するなか、施設の老朽化が大きな課題となり、また民間施設との競合などによる来園者への影響が懸念されることもあるため、施設のリニューアル、展示方法の改善や新規動物の導入など、より市民に親しまれる施設づくりが求められています。</p> <p>[方 策]</p> <p>リピーター確保などを目的とした各種催事事業の充実を図るように事業を進めてまいります。施設のリニューアル、展示方法の改善や新規動物の導入などについては、市所管課が設置した「盛岡市動物公園リニューアル活性化懇話会」において、動物公園の将来像について各種提案をするなど所管課と共に検討してまいります。</p>
所管課	<p>[現 状]</p> <p>盛岡市の施策に掲げる「うるおいのある公園・街路樹の確保」「将来を担う次世代の育成、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築」「かけがえのない自然との共生」を推進するため、動物公園の設置趣旨に基づき、指定管理者である盛岡市動物公園公社の指導監督に努めています。</p> <p>入園者数が減少傾向にあるなか、入園料の改定や坂道シャトルカーの運行、公社事業の支援など行いながら、入園者の確保に努めてまいりました結果、催事参加者数とその割合は一定水準を維持しています。</p> <p>[課 題]</p> <p>開園後24年を経過し施設の老朽化が著しく長寿命化のための対応が必要となっています。またそれに加えて、施設のリニューアル、展示方法の改善や新規動物の導入など、より市民に親しまれる施設づくりが求められています。</p> <p>[方 策]</p> <p>中長期的な経営改善に向けた、新たな魅力づくりを図るため、「盛岡市動物公園リニューアル活性化懇話会」を組織し、市民のニーズに応える各種事業を実施するほか、動物公園の魅力ある将来像について、その計画策定と実施方法も含めて検討してまいります。</p>

(2) 計画性

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 経営基本方針	1	経営基本方針を策定している。	○	
	2	経営基本方針の内容は、簡潔明瞭である。	○	
	3	経営基本方針には、法人の存在理由が規定されている。	○	
	4	経営基本方針について、経営陣が全ての役職員に周知している。	○	
	5	経営基本方針は、全ての役職員に浸透している。	○	
	6	全ての役職員が、経営基本方針に従った行動をとっている。	○	
2 中長期経営計画	7	具体的な指標に基づく中長期経営計画を策定している。	○	
	8	中長期経営計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。		○
	9	中長期経営計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、分析結果に基づき業務改善を議論する仕組みがある。	○	
	10	中長期経営計画と実績についての分析結果を中長期計画の見直しに反映させている。	○	
	11	中長期経営計画と実績についての分析結果に基づき、計画を達成するための具体的な業務の改善策を実施している。	○	
3 年次事業計画	12	年次ごとの事業計画を策定している。	○	
	13	年次事業計画と実績について分析し、分析結果を次年度以降の事業計画や中長期経営計画に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	14	年次事業計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。		○
	15	年次事業計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、議論する仕組みがある。	○	
	16	年次事業計画と実績についての分析結果に基づき、具体的な業務の改善策を実施している。	○	
4 経営環境の把握	17	法人の経営資源の長所、短所を把握し、法人の活動に反映させている。	○	
	18	外部経営環境(事業に関わる社会経済の動向・法令等の動きなど)を把握している。	○	
合計			16	2

はいの割合 89 %

・評価コメント

計画性について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状] 平成20年度第1回財団法人盛岡市動物公園公社理事会において承認された、財団法人盛岡市動物公園公社経営計画(平成20年度～平成25年度)、並びに毎年度の事業計画に基づき事業を実施しています。
	[課題] 公社経営計画の期間は平成25年度までの6年間ですが、計画に記載されている施設リニューアルの見通しが立っていないこと、また社会経済情勢の変化や自然・気象状況の影響などが大きいことから、計画の達成が困難な状況にあります。
	[方策] 計画に掲げた数値目標などを検証・評価し、次期計画(H26～H30)に向けた見直し等を行ってまいります。また、年次計画における結果等を分析しながら次期年次計画に反映させています。
所管課	[現状] 平成20年度に策定された「財団法人盛岡市動物公園公社経営計画」を踏まえながら、毎年度の入園者数などの目標を掲げ、達成に努めています。
	[課題] 入園者数、動物公園使用料等の増加については、施設等改善が困難であり、社会経済情勢の変化や自然災害や気象状況による影響なども大きく、安定的な経営改善に向けた目標の設定が難しい状況にあります。
	[方策] 計画達成に向け、公社職員と連携しながら、展示方法の改善や来園者へのサービス向上に努めます。数値目標などについては、盛岡市動物公園公社とともに検証・評価しながら計画の見直し等を行い、計画の実効性を確保するように努めてまいります。

(3) 経営管理の仕組み

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 組織管理	1	組織構造は経営環境の変化に応じて定期的に見直しされている。	○	
	2	組織を機能ごと、または事業ごとに分け、役割を明確にしている。	○	
	3	部門ごとの連携が円滑に行われる組織体制になっている。	○	
	4	異なる業務間の配置転換、権限委譲等により組織の活性化を図っている。	○	
2 コスト管理	5	事業別、業務別など、個別の事業内容に関するコスト分析を実施している。	○	
	6	コスト分析の結果が、経営計画や事業内容へ反映される仕組みとなっている。	○	
3 顧客満足度	7	定期的に顧客満足度調査を実施している。	○	
	8	顧客満足度調査の結果を分析し、分析結果を経営に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	9	顧客満足度調査の結果を分析し、顧客のニーズを把握している。	○	
	10	顧客のニーズを分析し、その結果を踏まえて改善努力をしている。	○	
	11	中長期経営計画や年次事業計画に顧客のニーズを反映させている。	○	
4 職員の 人材育 成・能力 開発	12	業務に必要な知識を身につけるための職員研修や派遣を実施している。	○	
	13	研修等により、実際に職員の能力・技術が向上している。	○	
	14	職員が法人の活動に関わりのある資格を取得している。	○	
	15	職員が研修で得たノウハウを、他の職員も共有している。	○	
	16	必要に応じ、専門知識を有する外部の人材を活用(職員として採用、指導や助言を受ける、など)している。	○	
	17	人材育成や能力開発を中長期経営計画等に盛り込んでいる。	○	
	18	経営陣は、人材育成や能力開発に積極的に関与し、かつ自らも学習し取り組んでいる。	○	
	19	決裁などの日常業務の意思決定や事務分掌、現金管理等、業務上の必要な規定が適切に整備されている。	○	
5 業務執 行体制	20	理事会、取締役会をはじめとした業務執行体制が関係法令等に基づき適切に整備され、実質的に機能を果たしている。	○	
	21	経営上重要な意思決定は、理事会(取締役会、株主総会)の決議により行っており、必要に応じて迅速に開催できる体制が整っている。	○	
	22	監査の指摘事項に対して、改善策を実施している。	○	
	23	財務状況は、年度途中に定期的(必要があれば随時)に経営陣に報告する仕組みがある。	○	
6 情報公 開	24	法人の財務状況や事業成果を積極的に外部に公表している。	○	
合計			24	0

はいの割合 100 %

・評価コメント

経営管理の仕組みについてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状] 組織管理・コスト管理など動物公園の効率的な運営は公社設立目的の一つであり、展示動物や施設の管理、各種事業の実施について、公社役員・職員による点検・審査、見直しを実施するとともに、市所管課との細部にわたる協議ヒアリングを行いながら進めています。顧客満足度については、アンケートを実施し、市民ニーズの把握に努め、業務の改善を進めています。職員人材育成については、派遣研修や職場研修などに努めています。業務体制は、複数によるチェック体制をとるとともに、法令等に基づく監査等を実施しています。情報公開は、ホームページなどにより積極的に行っています。
	[課題] 指定管理者として市民の負託に応えられるよう、また、公益法人としての事業の実施や組織体制の充実を図るよう、公社の自主的な経営を進める必要があります。
	[方策] 設立後20年以上経過した法人として、動物公園施設のリニューアルも含めた動物公園の将来像を検討しながら、指定管理者としても、市民のニーズに応えられるよう、効率的な経営管理を実現するよう努めてまいります。
所管課	[現状] 動物公園設置目的及び公社の設立目的は整合しており、適切な経営管理や業務が執行されています。また指定管理者である動物公園公社に対する支援を継続するとともに、管理運営状況を適切に確認しながら、指導監督に努めています。
	[課題] 公社設立者(出資者)として、公益法人として認定された公社の自主的な経営を今後も支援していく必要があります。
	[方策] 平成21年4月から第2期の指定管理者として、より質の高い経営管理が行われるよう指導監督してきたことを継続しながら、平成26年からの次期指定管理期間における自主的な効率的な動物公園の管理運営が行われるよう指導してまいります。

(4) 財務状況(公益法人用)

項目番号	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 財務状況	1	債務超過になっていない。	○	
	2	自己資本が十分に確保されている。	○	
	3	借入金に依存しない資金運用を行っている。	○	
	4	市に対する収入依存度は改善の傾向にある。		○
	5	正味財産増減額がプラスである。	○	
	6	資金収支が黒字である。	○	
	7	正味財産がプラスである。	○	
合計			6	1

はいの割合 86 %

・評価コメント

財務状況についてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現 状] 公社経営の基本として、盛岡市から指定管理者の指定を受け、これに基づき確かな事業計画、予算を策定し事業実施にあたっています。限られた予算、人員のなかで動物公園設置の趣旨に沿いながら業務を行い、効率的な運営に努めるとともに、入園者数増加と自主財源の確保に努めています。
	[課 題] 安定した収入を確保するには、指定管理料の財源である入園者数増加による入園料等収入の確保と、これに伴う自主財源の確保を図る必要があります。
	[方 策] 魅力ある事業・イベントの充実などにより、リピーターの確保を図る等、入園者数増加と自主財源の確保に努めてまいります。
所管課	[現 状] 提出された事業計画書並びに収支計画書に基づき、その執行状況を適宜確認しています。
	[課 題] 冬季間の除雪、飼料費、連休期間中の交通対策、緊急修繕などの経費への対応が不十分な状況も見受けられるため、その改善を進める必要があります。
	[方 策] 施設の設置者の役割として、施設の計画的な改修、設備・部品の定期的な交換などの整備計画を取りまとめ、市の総合計画に位置づけ、中長期的な投資計画として取りまとめ、安定的な経営、利用者へのサービス向上、新たな魅力づくりに努める必要があります。

(5) 活動成果

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 成果指標	1	各業務について、成果指標が数値で具体的に設定されている。	○	
	2	法人の設立目的と連動した指標となっている。	○	
	3	事業ごとに数値目標を設定している。	○	
	4	指標や目標は、類似の事業を行う他の団体（他の地方自治体の出資等法人など類似団体、民間企業、非営利団体等）の動向を踏まえて設定したものである。	○	
2 活動成果の評価と公表	5	主要な成果指標について良好な水準を保っている、または改善の傾向にある。	○	
	6	成果指標の達成度について定期的に検証が行われている。	○	
	7	法人の活動成果について、外部委員等による定期的な点検・評価が行われている。		○
	8	活動成果をホームページ等の媒体を使って住民に公開している。	○	
合計			7	1

はいの割合 88 %

・成果指標について（指標名と実績を記載願います。）

成果指標名	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度
① 入園者数	人	180,986	146,496	155,963
② 催事等参加者数/対入園者割合	人	124,804/68.9	71,435/48.8	87,199/55.9
③ 社会教育関連(動物教室)件数/人員	件/人	322/20,785	300/17,015	357/20,581
④ 催物参加者(自然クラブ)件数/人員	件/人	45/663	68/913	87/1,382
⑤ 催物参加者(工作教室)件数/人員	件/人	38/488	41/557	46/560

・評価コメント

活動成果について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現 状] 入園者数は、開園20周年記念事業年度である平成21年度の18万人から減少していますが、社会教育施設として、教育普及事業や研究事業を積極的に実施することにより、催物参加者数・対入園者割合は4割以上を維持しています。
	[課 題] 活動成果をさらに増加させるためにも、施設のリニューアルや新規動物の導入のほか、老朽化施設の改善も進めながら、魅力ある動物公園の将来像を見据えた、市民に愛される動物公園づくりを進める必要があります。
	[方 策] 「新規展示動物の導入」や「展示改善によるリニューアル」など新たな魅力づくり、リピーター確保と新たな入園者開拓による入園者増加を目的とした動物公園の将来像を検討するとともに、現在の状況における事業の実施においても、成果達成を目指すよう事業の企画実施に向けて取り組んでまいります。
所管課	[現 状] 動物公園設置に伴い施設管理運営主体として設立された公社との協働により、動物公園設置目的に合致した社会教育施設としての成果が達成されるような管理運営が確保されてきました。
	[課 題] 今後迎える開園30周年を目指して、施設のリニューアルや新規動物の導入などを含めた、魅力ある新たな動物公園の将来像を検討し実現していく必要があります。
	[方 策] 開園以来20年以上が経過し、施設のリニューアルや新規動物の導入などを含め、魅力ある動物公園の将来像を見据えた、市民に愛される動物公園づくりを進めるとともに、動物公園の設置目的がより高く達成されるよう公社と協力し適正な管理運営を図ってまいります。

(6) 平成21年度第三者評価結果(全体評価結果)における取組状況

・全体評価結果を踏まえて、市の財政状況に左右されない自立した経営や自主財源の確保策等これまでの法人及び所管課の取組状況について記載してください。

<全体評価結果(抜粋)>

1. 経営環境の変化への対応について

環境の変化に適切に対応しながら、確実に公益性を発揮し、市の施策の推進をサポートできる活動成果を継続的に上げていくことができるよう、経営管理体制の充実などの取組みが望まれます。

2. 補助金、指定管理料について

市の厳しい財政状況を踏まえ、義務的経費を除いた経営に要する費用を極力抑制しつつ、活動成果の維持・向上を達成しながら、補助金や指定管理料の抑制に努めることが望まれます。

出資法人	所管課
<p>・開園以来20年が経過し施設老朽化等による入園者減少傾向のなか、経費削減の努力を図りながら、厳しい状況でも公益性確保のための成果を達成するよう事業運営に努めています。しかしながら、既存の施設を活かした公社自主事業(ソフト事業)の展開だけでは限界があり、安定した財源(入園料収入)確保のための入園者増加に結びつく方策が強く求められます。これらのことから、現状施設を良好に維持管理する改修計画や施設リニューアルと新規展示動物の導入などを検討することにより、動物公園の将来像を見据えた計画の策定と実施が必要であると考えます。</p>	<p>・入園者減少という厳しい状況のなか、管理者意識の醸成と一層の経営努力を促すため、経常経費の削減に努めるとともに、指定管理者の自主事業(有料)展開による収益性の確保を図るよう指導してまいりました。さらに、組織体制強化によるプロパー職員の経営参加を促すことにより、成果目標の実現と支出削減に向けた方向性を目指しています。その一方で動物公園の将来に向けた改修整備等の必要性が指摘されており、また入園者増加による公社の自主的運営を促すためにも、リニューアル改修整備などの実現を目指してまいります。</p>

(7) 平成21年度補助金評価結果における取組状況<所管課>

・21年度に庁内評価及び第三者評価を受けて策定した措置計画に対するこれまでの所管課の取組状況について記載してください。

名称	(財)盛岡市動物公園公社運営費補助金		所管課	公園みどり課
概要	動物公園公社の運営に要する経費の補助			
	開始年度	平成元	補助の相手方	公益財団法人 盛岡市動物公園公社
			H21予算	10,602 千円
H21一次評価結果	見直し継続	手段改善 有効性向上	当補助金は、その使途が職員の人件費であることから、その事業に支障をきたすことのないよう当面継続して実施していく必要がある。 動物公園公社の自主独立性を高めるための組織体制の整理・構築を行い、公社プロパー職員による自主的な運営へと移行していくことが望ましいことから、今後、この点も視野に入れた動物公園の効率的運営に努める必要がある。	
H21二次評価結果	見直し継続	手段改善 有効性向上	所管課評価のとおり	
H21措置計画	<p>・H22年度に向けた市組織機構の見直し調整等の中で、今後の市職員の派遣について検討を行なう。 ・公社運営費補助金は公社本部経営に係る人件費を対象としているものであることから、市派遣職員が引揚になった場合には、公社プロパー職員を補充の上安定した公社経営を図る必要があるため、そのための経費として人件費を対象とした補助金を今後も引き続き支出する必要があると考えられるため、今後の補助金の運用について公社及び関係課との調整を図る。 ・公社運営や指定管理者制度の効果をより発揮していくため、市と公社の役割分担を明確化する等、公社の自主独立性を高める方策について検討する。</p>			
	H22	公社の自主独立性を高める方策について、公社及び市の双方において検討をおこなう	H23	自主独立性を高める方策についての検討内容に基づき、動物公園事業を進める
			H24	同左
措置状況	取組内容			
<input type="checkbox"/> 措置計画通り <input checked="" type="checkbox"/> 一部措置計画通りでない <input type="checkbox"/> 措置計画通りでない	H22年度に市職員の派遣は中止して、公社プロパー職員を補充したことにより、その経費である補助金を減額することができた。これに伴い、今後の公社の自主的な運営を目指して組織体制の見直し強化を行った。市と公社の役割分担の明確化による自主独立性の確保については、平成26年からの次期指定管理期間を目指して現在検討中である。			